

避難グッズチェックシート

ドライフード

3日以上は準備しておいたほうがよいでしょう

缶詰、パウチタイプのウエットフード

水が少ないときに水分の多いウエットフードが役立ちます

おやつ

緊張やストレスを軽減できます

水

飲用、ケガをした際に傷口を洗えます

フードボウル

かさばらないアウトドア用の、たためるフードボウルがあるとよいでしょう

いつも飲んでいる薬、予防薬

ペットシート

首輪、リード、ハーネス

室内につねにいるワンちゃん、ネコちゃんでも、首輪をつけておいた方がいざという時につかまえやすくなります。リードは付ける時間がないこともあるので、予備を用意したほうがよいでしょう。

カップ

雨を防ぐ以外に、寒さ、ケガの予防にもつながります。

ブーツ、くつした

ガレキが多いが抱っこできない時に役立ちます。

※事前に履いて歩けるように練習をしたほうがよいでしょう。

ケージ、キャリー

※避難所にいる場合、長く中に入ることが考えられます。日頃から落ち着いて入っていられるようにしましょう。

おもちゃ

緊張やストレスを軽減できます。

あまりスペースがなくても遊べるものがよいでしょう。

口輪

ワンちゃんが避難所に入った際、飼い主さんも周りの方も安心できます。

拾い食いの予防にもなります。

食べ物、飲み物、薬などの期限のあるものは、日にちが過ぎないように注意しましょう。



ペットの写真

はぐれた際、今の特徴が良くわかる写真を準備しましょう。

写真は家族の方と一緒に写っているものや、全身が写っているもの数枚あるとよいでしょう。

※定期的に交換することも忘れずに。

成犬・成猫ちゃんであれば、6ヶ月

仔犬・仔猫ちゃんであれば、1ヶ月

ワンちゃん・ネコちゃんの情報を細かく記した手帳

食事について、給与回数、給与量、運動、好み、嫌いなこと、病歴、現在投与している薬、合わない薬、処方されている食事、主治医、かかりつけの病院名と連絡先、飼育環境（温度、湿度、明るさ、飼育場所）、注意事項（咬傷事故歴、理由など）その他必要と思われることはなんでも記載してください。

そして、飼い主さんの住所、氏名、連絡先、携帯電話番号も忘れずに記載してください。

手帳には写真を貼っておくと良いでしょう。

ワクチン証明書や鑑札、狂犬病予防注射済票

黒の油性ペン

はぐれた際の情報伝達などに役立ちます。

ビニール袋

応急手当用品

ガーゼ、包帯、洗浄綿、綿棒、紙テープ、ハサミなど。

保温用品

使い捨てカイロ、毛布など。

タオル